

テーマ：『 地域の里地・里山を生かした活動を通して保全をめざす子の育成 』

秦野市立 東 小学校

Tel. 0463-81-1620 担当者： 内山 浩



■実践内容:

本校では、地域との連携及び、自然体験活動として、5年生が三者共同（小学校・公民館・社会福祉協議会）事業「あずまの里稲作り体験教室」を実施している。

精米の後、社会福祉協議会の方が地域の独居老人の方々に、お弁当として配食（5年生児童の手紙を添付）した。また、収穫の喜びを感謝祭として表現し、お世話になった方々に感謝の意を表した。

更に、感謝祭当日の給食の主食を米飯とし、お世話になった方々と一緒に食べる事ができた。

■実践成果:

東地区の自然環境を活かした一連の活動を通し、児童は、地域に愛着の心を持つことができた。また、多くの方々に世話になって活動が成り立っていることに気づき、感謝する気持ちを育むこともできた。

更に、自分たちが作ったお米を一人暮らしの高齢者の方々に食べてもらい、感謝されることによって自分たちも地域社会の一員として、役に立てたという満足感を得ることができた。

■実践ポイント:

本校の稲作り体験活動の特徴は、種籾を蒔く活動から稲刈り、精米、配食の全ての過程において児童が関わりをもって活動していることである。これらの一連の活動を通し、自然とのふれあいのみに限らず、「人とのふれあい」「感謝の気持ち」をも身につけることができる人格形成の活動と言えることである。